第４期末（2026年８月24日）	
基準価額	9,513円
純資産総額	281百万円
第３期～第４期 （2026年２月25日～2026年８月24日）	
騰落率	△7.5％
分配金合計	0円

（注）騰落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター 0120-762-506
（9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ https://www.nam.co.jp/

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

ニッセイアセットマネジメント株式会社
NISSAY ASSET MANAGEMENT
東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ・インド株式オープン（３ヵ月決算型）

【愛称】ギフトシティーの恵み

追加型投信／海外／株式

運用報告書（全体版）

作成対象期間：2026年２月25日～2026年８月24日

第３期（決算日　2026年５月25日）

第４期（決算日　2026年８月24日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

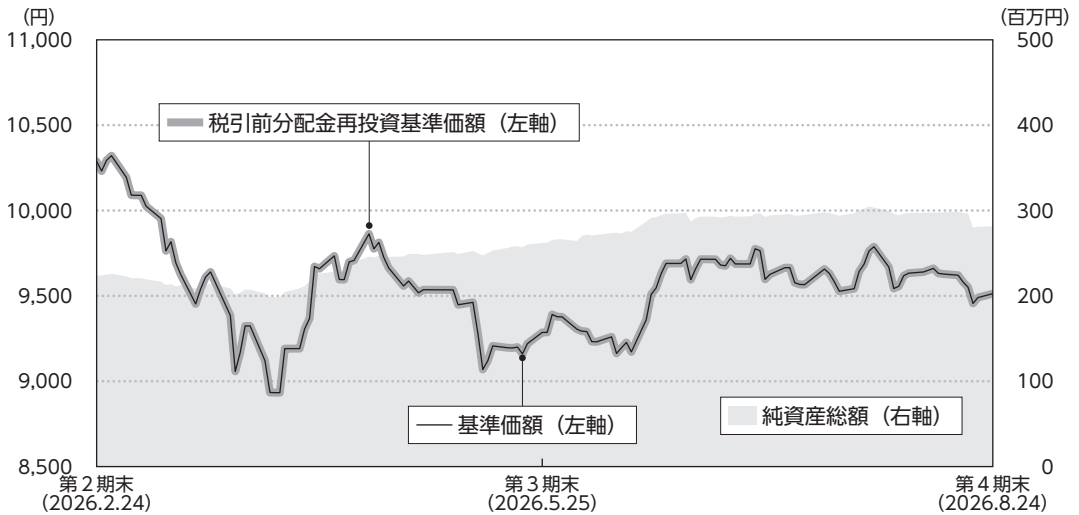
さて「ニッセイ・インド株式オープン（３ヵ月決算型）」は、このたび第４期の決算を行いました。

当ファンドは、「ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）」への投資を通じて、Nifty50指数（配当込み）への連動をめざす上場投資信託証券（ＥＴＦ）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過 2026年２月25日～2026年８月24日

基準価額等の推移



第３期首	10,288円	既払分配金	0円
第４期末	9,513円	騰落率（分配金再投資ベース）	△7.5%

（注１）税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注３）当ファンドはコンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

・４月上旬から中旬にかけて、中東における戦闘終結への期待感の高まりやインド企業の堅調な業績動向などから、インド株式市場が上昇したこと

・６月中旬から当作成期末にかけて、インド企業の良好な業績発表などから、インド株式市場が上昇したこと

＜下落要因＞

・当作成期初から３月下旬にかけて、米国・イスラエルとイランの軍事衝突による原油価格の急騰を受けたインフレ圧力の高まりや景気悪化への懸念から、インド株式市場が下落したこと

・４月下旬から６月上旬にかけて、今季のモンスーンの降水量が例年を下回るとの予測に伴う農村部における需要の減退懸念や、通貨安による輸入コストの上昇懸念などから、インド株式市場が下落したこと

１万口当たりの費用明細

項目	第３期～第４期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	38円	0.398%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×期中の日数／年間の日数 期中の平均基準価額は9,543円です。
（投信会社）	(14)	(0.147)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(22)	(0.234)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	0	0.002	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(0)	(0.002)	
その他費用	0	0.000	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.000)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	38	0.400	

（注１）作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

（注２）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

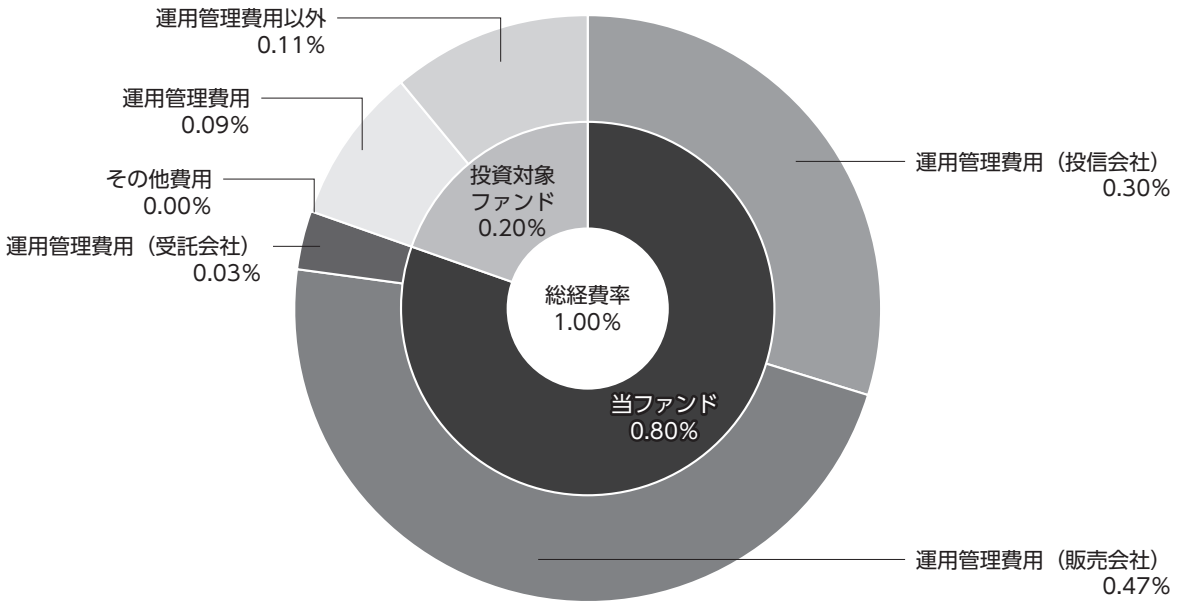
（注３）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入しています。

（注４）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

（参考情報）

■総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.00%**です。



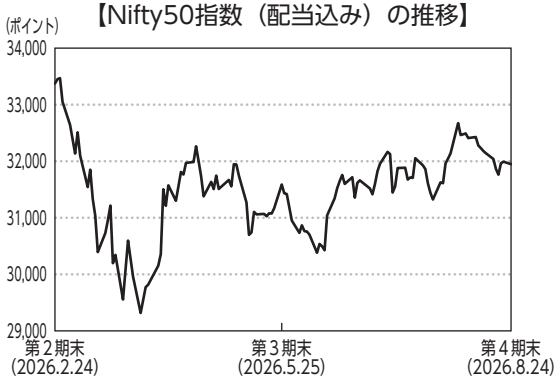
総経費率（①＋②＋③）	1.00%
①当ファンドの費用の比率	0.80%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.09%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11%

（注１）①の費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

投資環境

■インド株式市況

【Nifty50指数（配当込み）の推移】



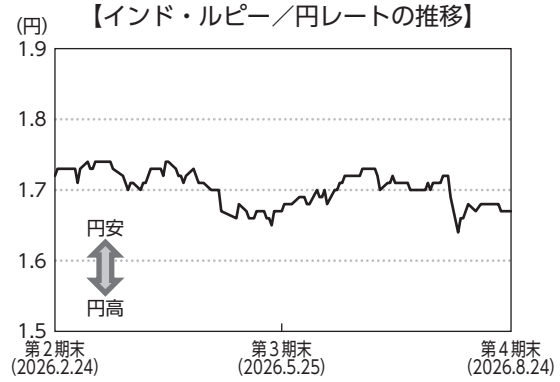
（注）ブルームバーグのデータを使用しています。

インド株式市場は、当作成期を通じて見ると下落しました。

当作成期初から３月下旬にかけて、米国・イスラエルとイランの軍事衝突による原油価格の急騰を受けたインフレ圧力の高まりや景気悪化への懸念から株価は下落しましたが、４月中旬にかけては中東における戦闘終結への期待感の高まりやインド企業の堅調な業績動向などから上昇しました。しかし、４月下旬から６月上旬にかけて、今季のモンスーンの降水量が例年を下回るとの予測に伴う農村部における需要の減退懸念や、通貨安による輸入コストの上昇懸念、インフレ圧力の高まりを受けた金融引き締めへの警戒感が嫌気され株価は下落しました。その後、当作成期末にかけてはインド企業の良好な業績発表などから株価は上昇しました。

■為替市況

【インド・ルピー／円レートの推移】



（注）対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

インド・ルピー／円レートは当作成期を通じて見るとインド・ルピー安円高となりました。

当作成期初から５月中旬にかけて、中東における戦闘により投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、政府・日銀の為替介入とみられる動きによりインド・ルピー安円高となりました。５月下旬から６月下旬にかけては、米国とイランの戦闘終結に向けた暫定合意への動きや日銀による利上げ観測の後退などからインド・ルピー高円安となりました。しかし、７月上旬から当作成期末にかけて、米国とイランの最終合意に向けた協議が進まない中、両国間の緊張が激化したことや、政府・日銀による為替介入とみられる動きによりインド・ルピー安円高となりました。

ポートフォリオ

■当ファンド

「ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）」への投資を通じて、Nifty50指数（配当込み）への連動をめざす上場投資信託証券（ＥＴＦ）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

■ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）

＊ニッポンライフ・インディア・アセットマネジメントの資料（現地における前月末営業日基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

Nifty50指数（配当込み）への連動をめざすＥＴＦを主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

７月末における業種配分については、組入比率の高い順に銀行（29.0％）、情報技術－ソフトウェア（8.4％）、石油製品（7.9％）としています。

（注１）業種はインド投資信託協会基準によるものです。
（注２）比率は対組入株式等評価額比です。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当ファンドは、「ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）」への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、見送らせていただきました。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（１万口当たり）】

項目	第３期 2026年２月25日～2026年５月25日	第４期 2026年５月26日～2026年８月24日
当期分配金（税引前）	－	－
対基準価額比率	－	－
当期の収益	－	－
当期の収益以外	－	－
翌期繰越分配対象額	790円	791円

（注１）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。
（注２）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も「ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）」への投資を通じて、Nifty50指数（配当込み）への連動をめざす上場投資信託証券（ＥＴＦ）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）

Nifty50指数（配当込み）への連動をめざすＥＴＦを主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

■組入ファンド

	第４期末 2026年８月24日
ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT （クラスDユニット）	98.1%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

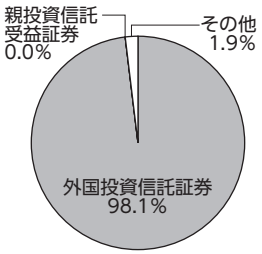
（注１）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

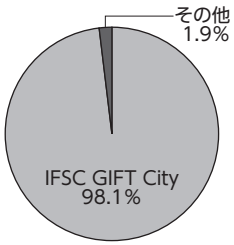
項目	第３期末 2026年５月25日	第４期末 2026年８月24日
純資産総額	262,043,826円	281,620,326円
受益権総口数	282,186,098口	296,041,008口
１万口当たり基準価額	9,286円	9,513円

（注）当作成期間（第３期～第４期）中における追加設定元本額は133,430,224円、同解約元本額は55,376,516円です。

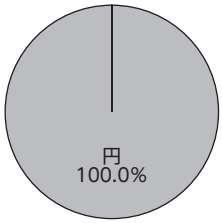
■資産別配分



■国別配分



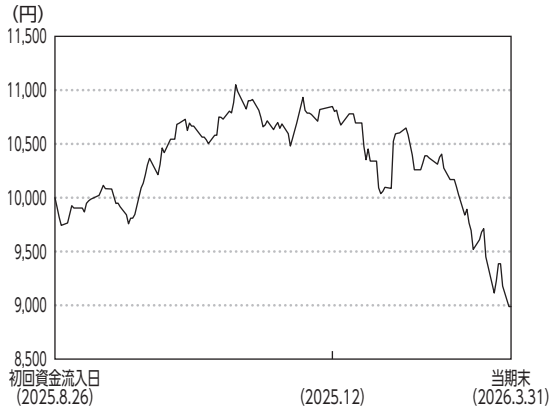
■通貨別配分



（注）資産別・国別・通貨別配分は、2026年８月24日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）の概要

■税引前分配金再投資基準価額の推移

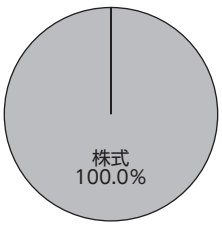


（注）外国投資信託証券の設定日は2025年４月１日ですが、外国投資信託への初回資金流入日より記載しています。

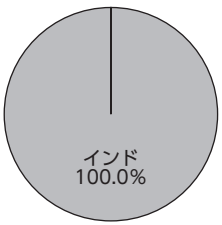
■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
HDFC Bank Limited	インド・ルピー	10.9%
Reliance Industries Limited	インド・ルピー	8.9
ICICI Bank Limited	インド・ルピー	8.4
Bharti Airtel Limited	インド・ルピー	5.3
Infosys Limited	インド・ルピー	4.3
Larsen & Toubro Limited	インド・ルピー	4.0
State Bank of India	インド・ルピー	4.0
Axis Bank Limited	インド・ルピー	3.3
ITC Limited	インド・ルピー	2.7
Mahindra & Mahindra Limited	インド・ルピー	2.6
組入銘柄数	50	

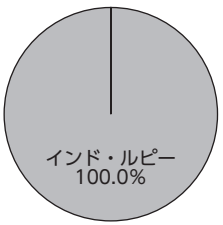
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



（注１）税引前分配金再投資基準価額の推移は、外国投資信託証券の直近の決算期のものです。

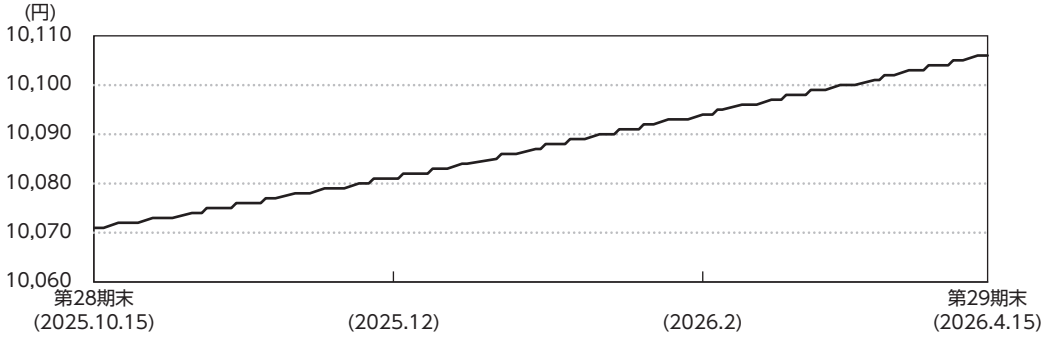
（注２）上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、外国投資信託証券決算日（2026年３月31日現在）のものであり、比率は外国投資信託証券の組入株式等に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッポンライフ・インディア・アセットマネジメントの分類によるものです。

（注３）１万口当たりの費用明細につきましては、入手が困難であるため記載していません。

（注４）全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の投資有価証券明細表をご参照下さい。

ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

■基準価額の推移



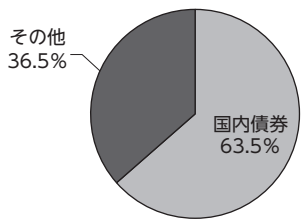
■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
第１回　東京都公募公債（東京ソーシャルボンド（５年））	円	10.4%
令和３年度第６回　埼玉県公募公債（５年）	円	10.4
平成28年度第４回　京都市公募公債	円	6.2
第760回　東京都公募公債	円	6.0
平成28年度第１回　静岡市公募公債	円	6.0
第160回　共同発行市場公募地方債	円	5.7
第291回　政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	円	3.8
第158回　共同発行市場公募地方債	円	3.8
第756回　東京都公募公債	円	3.8
平成28年度第５回　愛知県公募公債	円	3.8
組入銘柄数	11	

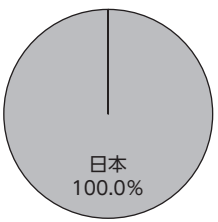
■１万口当たりの費用明細

当期（2025年10月16日～2026年４月15日）における費用はありません。

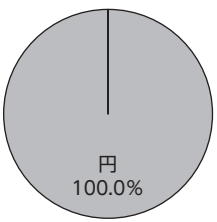
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



（注１）基準価額の推移および１万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

（注２）上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2026年４月15日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

（注３）全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額（分配落）	税引前分配金	期中騰落率	（ご参考）基準価額＋累計分配金	ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）	債券組入比率	純資産総額
	円	円	%	円	%	%	百万円
（設定日）2025年８月25日	10,000	－	－	10,000	－	－	107
１期（2025年11月25日）	10,912	0	9.1	10,912	98.0	0.0	223
２期（2026年２月24日）	10,288	0	△5.7	10,288	98.2	0.0	224
３期（2026年５月25日）	9,286	0	△9.7	9,286	96.8	0.0	262
４期（2026年８月24日）	9,513	0	2.4	9,513	98.1	0.0	281

（注１）設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。
（注２）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。
（注３）「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。
（注４）当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。
（注５）作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。
（注６）設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。
（注７）当ファンドはコンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

年月日		基準価額	騰落率	ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）	債券組入比率
		円	%	%	%
第３期	（期首）2026年２月24日	10,288	－	98.2	0.0
	２月末	10,321	0.3	98.5	0.0
	３月末	8,934	△13.2	98.4	0.0
	４月末	9,518	△ 7.5	97.0	0.0
	（期末）2026年５月25日	9,286	△ 9.7	96.8	0.0
第４期	（期首）2026年５月25日	9,286	－	96.8	0.0
	５月末	9,377	1.0	96.2	0.0
	６月末	9,681	4.3	98.5	0.0
	７月末	9,788	5.4	99.0	0.0
	（期末）2026年８月24日	9,513	2.4	98.1	0.0

（注）期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2026年２月25日～2026年８月24日

(1) 投資信託証券

	第３期～第４期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）	1,070	102,420	326	31,410

（注１）金額は受渡代金です。

（注２）口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	第３期～第４期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	－	－	－	－

（注）当作成期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2026年２月25日～2026年８月24日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2026年８月24日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	第２期末	第４期末		
	口数	口数	評価額	比率
	千口	千口	千円	%
ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）	2,124	2,868	276,224	98.1
合計	2,124	2,868	276,224	98.1

（注１）比率は、当作成期末の純資産総額に対する評価額の比率です。
（注２）口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	第２期末	第４期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	9	10

（注）当作成期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は5,148,211千口です。

投資信託財産の構成

2026年８月24日現在

項目	第４期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）	276,224	93.1
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	20,327	6.9
投資信託財産総額	296,562	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年５月25日)　(2026年８月24日)現在

項目	第３期末	第４期末
(A) 資産	**263,559,171円**	**296,562,938円**
コール・ローン等	8,694,041	5,997,993
ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT (クラスDユニット)(評価額)	253,585,077	276,224,868
ニッセイマネーマーケットマザーファンド(評価額)	10,053	10,077
未収入金	1,270,000	14,330,000
(B) 負債	**1,515,345**	**14,942,612**
未払解約金	1,060,134	14,363,222
未払信託報酬	454,636	578,659
その他未払費用	575	731
(C) 純資産総額(A－B)	**262,043,826**	**281,620,326**
元本	282,186,098	296,041,008
次期繰越損益金	△ 20,142,272	△ 14,420,682
(D) 受益権総口数	**282,186,098口**	**296,041,008口**
1万口当たり基準価額(C／D)	**9,286円**	**9,513円**

(注１) 当作成期首元本額　217,987,300円
当作成期中追加設定元本額　133,430,224円
当作成期中一部解約元本額　55,376,516円

(注２) 元本の欠損
当作成期末の純資産総額は元本額を下回っており、その差額は14,420,682円です。

損益の状況

(第３期　2026年２月25日～2026年５月25日)
(第４期　2026年５月26日～2026年８月24日)

項目	第３期	第４期
(A) 配当等収益	**9,371円**	**15,395円**
受取利息	9,371	15,395
(B) 有価証券売買損益	**△22,261,132**	**6,419,761**
売買益	507,237	7,694,158
売買損	△22,768,369	△ 1,274,397
(C) 信託報酬等	**△ 455,211**	**△ 579,390**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**△22,706,972**	**5,855,766**
(E) 前期繰越損益金	**2,083,361**	**△17,610,418**
(分配準備積立金)	(14,191,615)	(12,118,154)
(繰越欠損金)	(△12,108,254)	(△29,728,572)
(F) 追加信託差損益金＊	**481,339**	**△ 2,666,030**
(配当等相当額)	(8,128,574)	(11,298,091)
(売買損益相当額)	(△ 7,647,235)	(△13,964,121)
(G) 合計(D＋E＋F)	**△20,142,272**	**△14,420,682**
次期繰越損益金(G)	**△20,142,272**	**△14,420,682**
追加信託差損益金	481,339	△ 2,666,030
(配当等相当額)	(8,128,574)	(11,298,091)
(売買損益相当額)	(△ 7,647,235)	(△13,964,121)
分配準備積立金	14,191,615	12,132,158
繰越欠損金	△34,815,226	△23,886,810

(注１) **(B)有価証券売買損益**は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注２) **(C)信託報酬等**は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注３) **(E)前期繰越損益金**とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注４) **(F)追加信託差損益金＊**とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	第３期	第４期
(ａ) 経費控除後の配当等収益	0円	14,004円
(ｂ) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円
(ｃ) 信託約款に定める収益調整金	8,128,574円	11,298,091円
(ｄ) 信託約款に定める分配準備積立金	14,191,615円	12,118,154円
(ｅ) 分配対象額(ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ)	22,320,189円	23,430,249円
(ｆ) 分配対象額(１万口当たり)	790.97円	791.45円
(ｇ) 分配金	0円	0円
(ｈ) 分配金(１万口当たり)	0円	0円

お知らせ

■自社による当ファンドの設定解約状況

当作成期における自社による当ファンドの設定解約はありません。なお当作成期末現在、自社による当ファンドの保有残高は22百万円（元本24百万円、ファンド全体の8.1％）です。当社は当該保有分を解約することがあります。

■約款変更

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」の合併に伴い関連条項に所要の変更を行いました。

（2026年４月１日）

運用者情報

■当社運用担当者情報について

・当社の運用担当者情報はHP上よりご確認いただけます。

■ニッセイ・インド株式オープン（３ヵ月決算型）

https://www.nam.co.jp/fundinfo/niko_3/main.html

当ファンドの概要

商品分類		追加型投信／海外／株式
信託期間		無期限
運用方針		外国投資信託証券への投資を通じて、Nifty50指数（配当込み）への連動をめざす上場投資信託証券（ＥＴＦ）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。
主要運用対象	ニッセイ・インド株式オープン（3ヵ月決算型）	「ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」
	ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）	上場投資信託証券（ＥＴＦ）
	ニッセイマネーマーケットマザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品
運用方法		以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針		毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託者の判断により、分配を行わないことがあります。

以下は「ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）」（IFSC GIFT City籍外国投資信託証券）の2026年３月31日現在の財務諸表のうち、同ファンドにかかる部分を、委託会社において抜粋し、その原文を翻訳したものです。
同ファンドの財務諸表は、現地の諸法規に準拠して作成されており、独立監査人の監査を受けております。なお、「投資有価証券明細表」については、独立監査人の監査を受けておりません。

(1) 損益計算書（2025年４月１日～2026年３月31日）

＜ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）＞

（単位：千米ドル）

損益を通じて公正価値で測定する金融商品から生じる純利益（損失）	(4,523)
為替差益純額（損失）	(136)
収益合計	**(4,659)**
費用	
投資運用報酬	11
その他費用	43
費用合計	**54**
税引前利益（損失）	**(4,713)**
法人税等費用	
当期税金費用	2
繰延税金費用	(3)
当期包括利益（損失）合計	**(4,712)**

(2) 投資有価証券明細表（2026年３月31日現在）

NIPPON INDIA ETF NIFTY 50 BEES (An Open Ended Index Exchange Traded Fund)

Name of the Instrument	Quantity	Market/Fair Value (Rs. in Lacs)	% to NAV
HDFC Bank Limited	85,266,662	623,768.27	10.94%
Reliance Industries Limited	37,631,042	505,723.57	8.87%
ICICI Bank Limited	39,830,559	480,316.71	8.42%
Bharti Airtel Limited	17,095,599	304,711.96	5.34%
Infosys Limited	19,533,866	244,290.53	4.28%
Larsen & Toubro Limited	6,541,503	229,220.81	4.02%
State Bank of India	23,119,740	226,434.73	3.97%
Axis Bank Limited	15,985,515	185,639.79	3.26%
ITC Limited	53,698,773	154,491.37	2.71%
Mahindra & Mahindra Limited	4,978,543	147,101.01	2.58%
Kotak Mahindra Bank Limited	41,016,450	144,952.13	2.54%
Tata Consultancy Services Limited	5,689,407	134,207.42	2.35%
Bajaj Finance Limited	14,903,929	119,462.44	2.09%
Sun Pharmaceutical Industries Limited	5,899,002	103,657.26	1.82%
Hindustan Unilever Limited	4,944,159	101,612.36	1.78%
NTPC Limited	26,412,957	97,899.63	1.72%
Eternal Limited	40,131,996	91,894.24	1.61%
Titan Company Limited	2,298,972	90,841.58	1.59%
Maruti Suzuki India Limited	730,980	89,954.40	1.58%
Tata Steel Limited	46,049,225	88,350.04	1.55%
Bharat Electronics Limited	19,955,014	79,949.76	1.40%
HCL Technologies Limited	5,879,180	78,875.08	1.38%
Power Grid Corporation of India Limited	25,233,056	74,715.08	1.31%
Hindalco Industries Limited	8,064,435	71,325.90	1.25%
UltraTech Cement Limited	659,883	70,904.43	1.24%
Shriram Finance Limited	7,801,873	68,040.13	1.19%
Oil & Natural Gas Corporation Limited	21,642,293	61,604.79	1.08%
JSW Steel Limited	5,223,768	58,636.80	1.03%
Coal India Limited	12,649,251	56,978.55	1.00%
Asian Paints Limited	2,518,921	54,539.68	0.96%
Bajaj Auto Limited	617,402	54,217.16	0.95%
Grasim Industries Limited	2,121,011	54,249.10	0.95%
Adani Ports and Special Economic Zone Limited	4,110,230	53,950.88	0.95%
Bajaj Finserv Limited	3,215,527	52,470.97	0.92%
Eicher Motors Limited	766,709	50,495.45	0.89%
InterGlobe Aviation Limited	1,260,160	49,694.41	0.87%
Tech Mahindra Limited	3,536,969	48,951.65	0.86%
Nestle India Limited	3,994,516	46,927.57	0.82%

Name of the Instrument	Quantity	Market/Fair Value (Rs. in Lacs)	% to NAV
SBI Life Insurance Company Limited	2,502,224	44,472.03	0.78%
Apollo Hospitals Enterprise Limited	573,243	42,528.90	0.75%
Dr. Reddy's Laboratories Limited	3,395,133	42,605.52	0.75%
Jio Financial Services Limited	18,271,759	40,947.01	0.72%
Trent Limited	1,236,184	40,742.15	0.71%
Max Healthcare Institute Limited	4,145,505	39,892.19	0.70%
Cipla Limited	3,134,375	38,371.02	0.67%
Tata Consumer Products Limited	3,627,673	36,813.63	0.65%
HDFC Life Insurance Company Limited	5,991,161	35,383.80	0.62%
Tata Motors Passenger Vehicles Limited	11,668,143	34,561.04	0.61%
Wipro Limited	15,921,648	29,875.38	0.52%
Adani Enterprises Limited	1,450,913	25,518.66	0.45%

【受益者の皆様へ】法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの当期運用状況をご報告申し上げます。

ニッセイマネーマーケット マザーファンド

運用報告書

第 29 期

（計算期間：2025年10月16日～2026年４月15日）

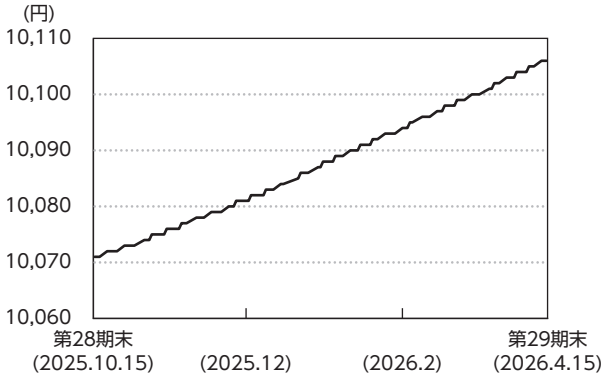
運用方針	①円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。 ②資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

主要運用対象	円建ての短期公社債および短期金融商品
運用方法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・外貨建資産への投資は行いません。

ニッセイ アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過 2025年10月16日～2026年４月15日

基準価額等の推移



■基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

（注）当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

お知らせ

■約款変更

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」の合併に伴い関連条項に所要の変更を行いました。

（2026年４月１日）

最近５期の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率	債券組入比率	純資産総額
	円	%	%	百万円
25期 (2024年 4 月15日)	10,025	0.0	83.1	1,391
26期 (2024年10月15日)	10,028	0.0	92.2	1,375
27期 (2025年 4 月15日)	10,043	0.1	73.1	2,007
28期 (2025年10月15日)	10,071	0.3	75.5	2,053
29期 (2026年 4 月15日)	10,106	0.3	63.5	4,800

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券組入比率
	円	%	%
(期首)2025年10月15日	10,071	−	75.5
10月末	10,073	0.0	74.8
11月末	10,078	0.1	79.6
12月末	10,084	0.1	70.8
2026年 1 月末	10,091	0.2	68.3
2 月末	10,096	0.2	68.5
3 月末	10,103	0.3	63.3
(期末)2026年 4 月15日	10,106	0.3	63.5

(注) 騰落率は期首比です。

１万口当たりの費用明細

2025年10月16日～2026年４月15日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料	－円	－％	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	－	－	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合計	－	－	

（注１）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。
（注３）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,088円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2025年10月16日～2026年４月15日

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	地方債証券	1,865,937	－ (557,000)
	特殊債券	181,642	－

（注１）金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。
（注２）（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。
（注３）金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2025年10月16日～2026年４月15日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
第1回　東京都公募公債(東京ソーシャルボンド(5年))	498,120	－	－
令和３年度第６回　埼玉県公募公債（５年）	497,630		
平成28年度第４回　京都市公募公債	298,041		
第760回　東京都公募公債	286,297		
平成28年度第１回　静岡市公募公債	285,848		
第291回　政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	181,642		

（注１）金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。
（注２）金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2026年４月15日現在

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちＢＢ格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					５年以上	２年以上	２年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	2,875,000 (2,875,000)	2,868,386 (2,868,386)	59.8 (59.8)	－	－	－	59.8 (59.8)
特殊債券（除く金融債券）	183,000 (183,000)	182,220 (182,220)	3.8 (3.8)	－	－	－	3.8 (3.8)
合計	3,058,000 (3,058,000)	3,050,606 (3,050,606)	63.5 (63.5)	－	－	－	63.5 (63.5)

（注１）評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間１年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。
（注２）（ ）内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。
（注３）組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。
（注４）額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

（国内公社債の内訳）

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
地方債証券	第756回　東京都公募公債	0.0500	2026/ 6 /19	182,000	181,821
	第760回　東京都公募公債	0.0450	2026/ 9 /18	288,000	287,005
	第1回　東京都公募公債(東京ソーシャルボンド(5年))	0.0050	2026/ 6 /19	500,000	499,305
	平成28年度第５回　愛知県公募公債	0.0700	2026/ 6 /29	182,000	181,792
	平成28年度第１回　広島県公募公債	0.0800	2026/ 5 /25	181,000	180,885
	令和３年度第６回　埼玉県公募公債（５年）	0.0050	2026/ 7 /28	500,000	498,853
	第158回　共同発行市場公募地方債	0.0800	2026/ 5 /25	182,000	181,883
	第160回　共同発行市場公募地方債	0.0500	2026/ 7 /24	272,000	271,516
	平成28年度第１回　静岡市公募公債	0.0600	2026/11/25	288,000	286,561
	平成28年度第４回　京都市公募公債	0.0700	2026/10/23	300,000	298,760
	小計	－	－	－	2,868,386
特殊債券（除く金融債券）	第291回　政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.0050	2026/10/30	183,000	182,220
	小計	－	－	－	182,220
合計		－	－	－	3,050,606

投資信託財産の構成

2026年４月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	3,050,606	63.3
コール・ローン等、その他	1,766,379	36.7
投資信託財産総額	4,816,986	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年４月15日現在)

項目	当期末
(A)資産	4,816,986,155円
コール・ローン等	1,766,041,463
公社債(評価額)	3,050,606,642
未収利息	284,533
前払費用	53,517
(B)負債	16,465,227
未払解約金	16,465,227
(C)純資産総額(A－B)	4,800,520,928
元本	4,750,142,861
次期繰越損益金	50,378,067
(D)受益権総口数	4,750,142,861口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,106円

(注１) 期首元本額 2,038,753,014円
期中追加設定元本額 3,167,158,192円
期中一部解約元本額 455,768,345円

(注２) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイグローバル好配当株式プラス（毎月決算型）	10,000円
ニッセイマネーマーケットファンド（適格機関投資家限定）	49,754,738円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）	9,994円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド（毎月決算型）	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド（年２回決算型）	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド（毎月決算型）	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド（年２回決算型）	9,984円
ＪＰＸ日経400アクティブ・オープン米ドル投資型	9,976円
ＪＰＸ日経400アクティブ・プレミアム・オープン（毎月決算型）	9,976円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン（毎月決算型）	9,974円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン（年２回決算型）	9,974円
ニッセイＡＩ関連株式ファンド（為替ヘッジあり）	9,967円
ニッセイＡＩ関連株式ファンド（為替ヘッジなし）	9,967円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（資産成長型）	9,968円
ＤＣニッセイターゲットデートファンド２０３５	466,742,032円
ＤＣニッセイターゲットデートファンド２０２５	2,683,450,997円
ニッセイ／コムジェスト新興国成長株ファンド（資産成長型）	9,969円
ニッセイ／コムジェスト新興国成長株ファンド（年２回決算型）	9,969円
ニッセイＡＩ関連株式ファンド（年２回決算型・為替ヘッジあり）	9,969円
ニッセイＡＩ関連株式ファンド（年２回決算型・為替ヘッジなし）	9,969円
ＤＣニッセイターゲットデートファンド２０３０	1,549,776,508円
ニッセイ／シュローダー・グローバルＣＢファンド（年２回決算型・為替ヘッジあり）	9,970円
ニッセイ／シュローダー・グローバルＣＢファンド（年２回決算型・為替ヘッジなし）	9,970円
ニッセイ／シュローダー・グローバルＣＢファンド（資産成長型・為替ヘッジあり）	9,970円
ニッセイ／シュローダー・グローバルＣＢファンド（資産成長型・為替ヘッジなし）	9,970円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド（予想分配金提示型）	9,972円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド（資産成長型）	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド（予想分配金提示型）	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド（資産成長型）	9,972円
ニッセイ／シュローダー好利回りＣＢファンド2023-02（為替ヘッジあり・限定追加型）	9,974円
限定追加型・損上乗豪ドル債ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド2023-07（為替ヘッジあり）	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド（資産成長型）	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド（毎月決算型）	9,975円
ニッセイＳ＆Ｐ５００リカバリー戦略株式ファンド	9,973円
ニッセイ・インド中小型株式ファンド	9,969円
ニッセイ・インド株式ファンド<購入・換金手数料なし>	9,964円
ニッセイ・インド株式オープン（資産成長型）	9,939円
ニッセイ・インド株式オープン（３ヵ月決算型）	9,939円
ニッセイ／シュローダー好利回りＣＢファンド2025-09（為替ヘッジなし・限定追加型）	9,934円
ニッセイ米国株式ブースト戦略ファンド（毎月決算・予想分配金提示型）	9,910円
ニッセイ米国株式ブースト戦略ファンド<為替リスク限定型>（毎月決算・予想分配金提示型）	9,910円
ニッセイ／シュローダー好利回りＣＢファンド2026-03（為替ヘッジなし・限定追加型）	9,901円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド（毎月決算型・為替ヘッジあり）	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド（毎月決算型・為替ヘッジなし）	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド（年２回決算型・為替ヘッジあり）	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド（年２回決算型・為替ヘッジなし）	9,968円

損益の状況

当期 (2025年10月16日～2026年４月15日)

項目	当期
(A)配当等収益	4,472,125円
受取利息	4,472,125
(B)有価証券売買損益	8,863,414
売買益	8,863,414
(C)当期損益金(A＋B)	13,335,539
(D)前期繰越損益金	14,433,829
(E)追加信託差損益金	26,792,804
(F)解約差損益金	△ 4,184,105
(G)合計(C＋D＋E＋F)	50,378,067
次期繰越損益金(G)	50,378,067

(注１) **(B)有価証券売買損益**は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注２) **(E)追加信託差損益金**とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注３) **(F)解約差損益金**とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。